



未来心

第33号

平成27年
4月1日

病院長就任のご挨拶

院長 宮本 勝也



この度中井志郎先生の後任として病院長に就任しました。当院は昭和22年12月に戦災者の救護のために開設され、昭和25年8月に国家公務員共済組合連合会の直営病院となり現在に至っています。就任にあたり諸先輩方が作られてきた歴史の重さを感じています。当院の理念は「患者の皆様が、安心して受診できるやすらぎの環境、および満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する」ことです。「癒しの心」を医療の心として、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指しています。また地域のかかりつけ医と連携し、地域に密着した医療を心がけています。私はこの理念を尊重し、更に患者の皆様、連携していただいている先生方、そして大切な職員から愛される病院を作っていきたいと考えています。

当院は消化器疾患に特化した急性期病院として、患者の皆様に進歩的な医療を提供して参りました。しかし75歳以上の後期高齢者が2011年の1.6倍になると予測されている2025年に向けて、医療費の増加を少しでも抑制したい政府は急性期病院を減らす政策を展開しています。「社会保障と税の一体改革」で示されたキーワードは医療機関の機能分化・強化、連携、在宅医療・介護の充実です。その様な医療情勢の中で当院の進むべき方向を考えると、まずは従来から得意としてきた消化器疾患に対する医療を更に高度化、集約化するために消化器センターの設立を考えています。手狭になった内視鏡室を拡充させ、患者様が安心して検査前の処置が出来るようなスペースを確保し、快適な環境で検査を受けて頂きたいと思っております。また内科・外科が密接な連携を行い、患者様に最も効果的、安全で低侵襲な治療を選択します。腹腔鏡手術の

適応も拡大し、患者様に優しい手術を更に推進していきたいと思ひます。連携に関しても、従来通りかかりつけの先生と密接な関係を維持し、地域完結型の医療を行いたいと考えています。

また在宅医療の充実に向けて、今年度より地域包括ケア病棟を設立しました。地域包括ケア病棟とは、急性期医療を終了し病状が安定した患者様に対し、在宅復帰に向けて医療や支援を行うことを目標とした病棟です。併せて在宅療養中の患者様に入院が必要となった時、かかりつけ医の先生より依頼を受けて入院する病棟でもあります。昨年度よりリハビリテーション科を設立し、機能訓練室も完成しました。住み慣れた地域で安心して医療が受けられるのが患者様にとって最も幸福だと思ひますので、その支援を積極的にしていきたいと考えています。

もう一つ病院長就任にあたり考えている事は、当院が職員にとって意欲と満足感が得られる組織でありたいという事です。病院のミッション「使命」は理念で示したとおりですが、それを達成するのは「人」です。理念を達成するためには、組織内に高い「志」を持ったスタッフが数多くいなければなりません。それぞれの職種において医療者としての志を持って入職した職員が、仕事のやりがい、達成感、自己実現のための意欲を感じ、医療の質向上につながった誇り及び満足感が得られるような環境を作りたいと思ひます。

広島記念病院 第13回 公開講座

日 時：平成27年3月3日(火) 13:30~14:30

テーマ：「Let's リハビリテーション」“広島記念病院 機能訓練室がオープンしました”

講師：広島記念病院 理学療法士 川口 貴大

第13回公開講座は、理学療法士の川口PTにより「リハビリテーション」をテーマとした講義を行いました。リハビリテーションの概念から、当院で行っているリハビリテーションの紹介、自分で気軽に出来る体操まで、学んで体験できる講座となりました。

まずはリハビリテーションとは？理学療法士とは？という話から始まり、日本での理学療法士の位置づけ、高齢化の進行、介護保険の導入といった時代背景のみられた2000年頃から急激に資格取得者が増加した背景が紹介されました。

次に、一般的なイメージではリハビリテーションは脳血管疾患、整形外科疾患の方が対象に思われがちですが、当院では腹部手術（特にかん）後の方が多く、また高齢者が多いという特色がある事を説明し、「高齢者は、術後1,2日動かないでいると、いざ立つと膝がわらうという方が多くみられる・・・」という例をあげて、そこから「寝たきりを予防するには？」「どのようなトレーニングがあるか？」と話しをしました。

自分一人で出来るトレーニングについて具体的に映像を交えながら紹介すると、講師の声かけを待たずして、皆さん積極的に身体を動かし始めておられました。椅子に座ったまま足首を動かす運動から始まり、椅子の背もたれを持って片足立ちし、もう片方を回す運動など、ほとんどの方が椅子から立ち上がって、講師のアドバイスをききながら熱心に実践してくださいました。

終了後、受講者からの「ためになりました、家でもやってみます！」というご感想が印象的でした。



褥瘡・NST・緩和ケア合同勉強会

広島記念病院 外科医長 坂下 吉弘

毎年恒例となりつつあります褥瘡・NST・緩和ケア合同勉強会を平成27年2月7日(土)に開催しましたので報告いたします。

チーム医療に関係するこの3つの委員会の委員長を私が務めていることもあり、それぞれの委員会の垣根を越えてより密接な関係を築き、皆で幅広く知識の向上をすることを目的に勉強会を企画しました。平成26年度は、念願でありましたリハビリテーションスタッフ4名を病院の新たな仲間として迎えることができ、チーム医療の重要性がより一層院内に浸透していていると実感しているところです。



勉強会のテーマは各委員会より持ち寄り、褥瘡対策委員会からは『シーティング（座位姿勢のポジショニング）』、NST委員会からは『口腔ケア』、緩和ケア委員会からは『がんリハビリテーション』について発表してもらいました。

シーティングでは実際に車椅子、リクライニング車椅子を用い、安楽な座位姿勢について学びました。座り直しなど、自己での調節が難しい患者さんにとって、不適切な座位姿勢は不快であるだけでなく褥瘡発生のリスクとなってしまうことがあります。姿勢の調節によって、接地面にかかる圧力がどのように変化するかを体圧測定システムで確認することで、理解を深めることができたと思います。

口腔ケアは、2名の歯科衛生士がペリオ（歯周病）、ブラッシングについて分かりやすく説明してくれました。より実践に近い話であり、患者さんに対する日々のケアだけでなく、自らのケアにも参考になる話でした。

がんリハビリテーションは、当院では平成26年度より開始となり、その概要や意義について理解することができました。手術や抗がん剤治療等によってがん患者さまの生存率が向上している現在、がんと共存し、より良い時間を長く過ごすためにはリハビリテーションが今後さらに重要視されてくるのではないかと、改めて感じております。

今回は院内23名に加え、院外からも2名のスタッフの参加がありました。他院での活動を知ることで、お互いが刺激になったのではないかと思います。次回開催時には、委員会に所属していないスタッフや、院外のスタッフにも積極的に参加を募りたいと考えております。多くの仲間を作り、チーム医療のさらなる発展に努め、患者さまにより良い医療を提供していきたいと思っております。



「オストメイト交流会」

看護部 皮膚・排泄ケア認定看護師 森本純子

褥瘡対策委員会では、人工肛門を造設された方（オストメイト）とご家族の方を対象とした患者会を毎年開催しており、今年で7回目となります。

今回は、3月14日の土曜日に、春の暖かさを感じる天気恵まれ「オストメイト交流会」を開催しました。今回の交流会参加者は、オストメイトとご家族の方が25名、ストーマ関連の業者が5社、当院のスタッフが14名と多くの方が参加され、開催場所である講義室は参加者の熱気であふれていました。

普段あまり見る機会の少ないストーマ用品の展示ブースでは、オストメイトやご家族の方はもちろんのこと、医師や看護師も瞳をキラキラさせながら見たり聞いたりしていました。参加者に5つのグループにそれぞれ分かれていただき、交流や相談の場を持ちました。それぞれのグループには当院のスタッフである医師や看護師も入りました。グループは、「男子会」「女子会」「夫婦会」でグループを分けていましたが、女子会の中に何故か男性の方や男性医師が混じられているといった(^_^)びっくりするような場面もありました。グループで交流や相談をされているオストメイトやご家族の方、スタッフの笑顔がとても素敵で印象的でした。ストーマを造設されて間もないオストメイトの方と長年参加されているオストメイトの方がお互いのストーマを見せられお話をされる場面がありました。長年参加されているオストメイトの方の凜とした表情で丁寧にお話されている姿が印象的で、ストーマを造設されて間もないオストメイトの方は「自分だけではなかったことがわかり、自信がもてた」と嬉しそうに話されていました。このような姿やストーマとともに生きている方達との関わりを通して、医療スタッフは多くの学びをすることが出来ます。いろいろなことを感じたり考えたりする機会となるのではないのでしょうか？

ストーマケアを行われるスタッフの方には、ぜひ一度このオストメイト交流会に参加していただきたいと思います。きっといろいろなことを感じることができ、あなたも笑顔になることが出来ると思います。



『第48回自衛消防隊消防競技大会』

医療情報室 千代延 篤志

平成 27 年 2 月 4 日 (水)、市民球場跡地で、第 48 回自衛消防隊消防競技大会が開催されました。今年は千代延 篤志 (医療情報室) と毛利 楓 (看護師) が消火器男女の部に参加してきました。消火器男女の部へは食品業界・ガソリンスタンド・自動車製造業・ホテル業界・病院など多職種の総勢 81 チームが参加していました。

まず簡単にルールを説明しますと、一人が「まと」へ放水し消火するまでのタイムと、もう一人が通報から消火器を運ぶまでのタイムの合計で競います。

さて、気になる当院の結果ですが、81 組中……なんと……2 位でした!!

練習も 1 回しかしていなかったのに、正直この結果には驚きました。次回へのリベンジを誓うことと、引き続き職場における初期消火技術の向上に活かしていこうと思います。



H27年度 新採用者宿泊研修

研修担当者 熊澤 崇

平成 27 年 3 月 14 日から 16 日の 3 日間、湯来ロッジにて新採用者宿泊研修を行いました。この研修は、毎年 4 月 1 日より採用される新採用職員全員を対象に、①人と人とのかかわりを通して自己をみつめ、仲間作りの土台とする。②専門職能を高めるために相互の啓発に役立つグループ作りをする。③コミュニケーションマナーを身に付ける。以上を目的とし、昭和 56 年より始められた当院伝統の宿泊研修です。今年度は、看護

師 27 名、薬剤師 3 名、理学療法士 4 名、臨床工学技師 1 名、事務員 3 名の総勢 38 名が研修を行いました。外部講師を招いた「社会人としての心構え」の講義から始まり、自己アピールを書いた手作り名刺による自己紹介、五感を研ぎ澄ませる「無言の探索」、2 日目には石ヶ谷峡トレッキングなど様々なグループワークを行い、研修の目的を達成することが出来ました。

この研修を通して 4 月から働く上で心強い仲間が出来たことと思います。その絆を大切にもらい、記念病院の新しい仲間として一緒に頑張っていきたいです。



6病棟紹介



Table of Dream

～みんなでテーブルを囲み語り合い夢を実現する～

6病棟では、毎年スタッフ一人一人が役割を持ち、目標達成に向けて主体的に取り組んでいます



病棟運営目標の紹介

目標Ⅰ

病棟全体で52件の症例カンファレンスを実施。その人の人生(物語)を大切に看護を語りあいました。看護を語る会では

- ・患者にとって“どうあることが良いのか”を家族・主治医・看護師で考えた事例
- ・在宅IVHを継続する患者様の不安の軽減

～看護訪問を通して～などを話会しました。また、今年度は6例の転医前・看護訪問を実施しました。



看護を語る会



目標Ⅱ

- 8月 病棟スタッフへAIインタビュー実施
PNSのメリット・デメリットを明確にしました。結果を基に、目標Ⅲメンバーでラベルワークを行いました
- 9月 スタッフへアンケートを実施
- 10月 PNSの流れを一覧表として作成しました。休憩室への提示を行いました。

デイリーダー／補完看護師の動き一覧表

ゴールに向かって
みんなで一歩ずつ取り組んでいきました。

【ゴール】

- 目標Ⅰ：1人2件以上のカンファレンスを実施する
患者・家族にとって必要で実戦可能な看護計画を立案する。
病棟内での看護を語る会を実施する。
転医前訪問・看護訪問を行う。
- 目標Ⅱ：デイリーダー・補完看護師の動きを明確にする
6階病棟でのPNSのメリット・デメリットを明らかにする
- 目標Ⅲ：月に1回以上の勉強会を実施する。
- 目標Ⅳ：患者の視点に立って療養環境を整える

目標Ⅲ

- ・胃癌・大腸癌・心電図・鎮痛剤
 - ・化学療法・骨折・人工呼吸器
 - ・フィジコを用いての呼吸音の確認
- など様々な勉強会を実施しました。すべて病棟スタッフが主体となり、講義資料を作成
病棟スタッフ全員の知識の向上を図ることができました。



研修風景

目標Ⅳ

- 7月から月1回のペースで小原コンシェルジュと病棟メンバーで病棟ラウンドを行いました。
- ラウンド結果はスタッフ全員に周知できるよう、写真日記を作成し病棟に掲示していきましました。
- スタッフみんなで意識し、患者様の療養環境を改善しました。



ラウンドカンファレンス



写真日記

【看護の質の向上】

- 目標Ⅰ：患者の視点に立った看護を実践する
- 目標Ⅱ：看護方式パートナーシップシステムの定着
- 目標Ⅲ：病棟内で勉強会を開催する
- 目標Ⅳ：療養環境を整える5S活動を実践する

平成26年度6病棟の取り組み

☆おむつの見直し☆

看護師全員で、おむつを見直してみませんか
院内のおむつを統一し、患者様に適した排泄ケアを提供できるように、院内認定看護師会を巻き込み、院内研修を何度も重ね、売店のおむつを花王「リリーフ」へ変更しました。おむつの特徴を活かしたあて方ができるよう頑張っています。



花王の方との話し合い



オムツ研修会にて

☆インシデントカンファレンス☆

砂原リスクマネージャーを招き、月に1件のインシデントカンファレンスを実施、年間11件のカンファレンスを実施しました。

→再発予防のために、ピクトグラムなど様々なものを作成しました。

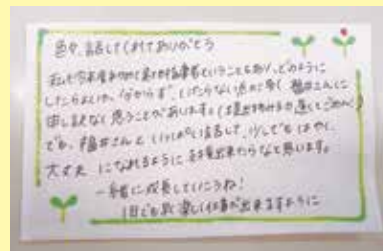
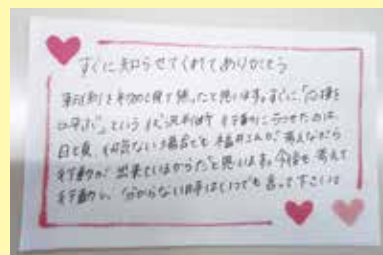


☆新人指導へThanksカードの活用☆

山本五十六の言葉をスローガンに掲げ、新人さんに【日々の感謝】を伝えていくことを大事にしました。その日の指導者や周りのスタッフが新人さんにたくさんの【ありがとう】をカードへ認めて手渡しました。新人さんの元へは、1年間で先輩からのたくさんの【ありがとう】が届きました。



新人さん用ホワイトボード



Thanksカード



☆病棟常駐薬剤師☆

2年目を迎えました。
わからないことはすぐに尋ねることができ、カンファレンスなどにも一緒に参加してもらっています。内服整理は薬剤師を中心に行うことで、看護業務をスムーズに行うことができます。病棟に常駐することで患者の情報が入りやすい、患者と繰り返し接することができるので薬剤師さんにも好評です。



病棟薬剤師による内服整理

看護補助者との連携 ～じえじえ会～

6階で勤務する4人の看護補助者と時には清掃員の方も交えて、気づきや意見交換をする会を月に1回開催しました。

→看護師と看護補助者で協働することで業務がよりスムーズにできるようになりました。



看護補助者の業務早見ボード

広島記念病院「理念」「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730

FAX 082 (503) 1010

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 1010

記念寿

TEL 082 (294) 8400

FAX 082 (294) 8420

合庁(合同庁舎診療所)

TEL 082 (221) 9411

FAX 082 (223) 6204

歯科診療所

TEL 082 (294) 7858

外来診療担当表

平成27年4月1日現在

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	山 本	隅 井	隅 井	城 戸	当番医
		二 診	江 口	田 村	城 戸	江 口	田 村	
		三 診	炭 田	阿座上	炭 田	阿座上	山 本	
		四 診		山 田		山 田		
総合診療科	8:30~11:00		横 崎	菊 地			休 診	
外 科	8:30~11:00	一 診	宮 本	横 山	坂 下	宮 本	坂 下	当番医
		二 診	首 藤	小 林	首 藤	横 山	小 林	
		三 診						
	13:00~14:30		宮 本	小 林	坂 下	宮 本	坂 下	
産婦人科	8:30~11:00	一 診	横 田	横 田	横 田	横 田	横 田	休 診
	13:00~14:30	一 診	横 田				横 田	
小 児 科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
	13:00~13:30	健診・予防接種	予防接種	乳児健診(予約) (第1・3(火)のみ)	予約検査	予約検査	予防接種	
	14:30~16:00	一般診療	広大医師	藤井(裕)		岸	岸	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		佐々木、 又は久保田	
皮膚科	8:30~11:00		菅				横 林	
泌尿器科	8:30~11:00					神 明	藤井(慎)	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 本	金 本	金 本	金 本	定 秀	
		二 診		藤 東		藤 東		
		午後(予約のみ)	手 術	検 査	手 術	検 査		
広島記念 診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	

* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。

歯科を除く各科とも再診は7:30から受付けています。

部分は女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、

本川町下車、南へ100メートル徒歩1分

広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて

本川町下車、南へ100メートル徒歩1分

広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場72台、平面駐車場10台

身障者専用駐車場3台

詳細は病院ホームページをご覧ください